



令和5年度 東京都立武蔵台学園 学校経営報告

令和6年3月31日 校長決定

はじめに

アフターコロナを迎え、新しい生活様式の中で、これまでの伝統の良さを継承しつつ、改革すべき点について見直す一年となった。

「教学相長」の校訓のもと、全教職員の英知を結集して、組織的、計画的な学校経営を推進し、児童・生徒、保護者をはじめ、広く都民に親しまれる学校「セーフティ&スペシャリティ&スマート・スクール」の実現に全力を注いできた。以下に令和5年度の学校経営について報告する。

I 令和5年度の取組目標等に関する自己評価

各取組目標に対する実施状況及び成果と課題については、別紙「令和5年度 学校経営の自己評価(最終実施状況)」のとおりである。

II 令和6年度以降の課題とそれに対する改善策

令和6年度以降の本校の重点取組課題は、

- 1 安全で安心な学校運営の推進
- 2 個に応じた教育の推進
- 3 ライフ・ワーク・バランスの推進

の3つである。

それらの改善に向けて、具体的には、

1 児童・生徒の事故を0にする。そのためには、関係者間の連携を密に取りながら子供の実態把握と行動の予測、施設・設備の安全管理に徹底して当たっていく。

2 デジタル技術等により個に応じた教育を推進する。そのためには、全教員がICT機器を用いた授業ができる状態を維持し、小・中学部のGIGAスクール端末及び高等部の一人1台端末を効果的に活用する。また、授業以外の様々な校務においてもデジタルによる効率化を図り、子供に注力する時間を確保することで一層個に迫れる環境を整備する。

3 時間外在勤時間月45時間超の職員を0にする。そのためには、働き方のビジョンを示し、戦略を共有したうえで、行動指針を明らかにすることで達成を図っていく。

そして、令和6年度は東京都特別支援教育推進計画(第二期)第二次実施計画の最終年度であることに鑑み、共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進を着実に果たしていく。